

NEWS RELEASE (2023年11月1日) 取材依頼

鹿児島大学農学部と鹿児島市水道局との下水道資源活用に関する 協定の締結について

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

鹿児島大学農学部は、鹿児島市水道局と包括的な連携のもと、それぞれが有する資源、人材等を活用することにより、下水道資源活用の発展、人材の育成及び地域社会の振興に寄与することを目的に、2023年10月27日に下水道資源の活用に関する協定を締結しました。

記

【経緯】

鹿児島大学農学部渡部由香准教授を中心とした研究グループは、鹿児島市水道局と下水汚泥等市民利用促進研究事業の一つとして平成27年度まで実施した下水処理水の水耕栽培への利用可能性研究を進展させ、下水処理水を養液とした水耕栽培装置による機能性野菜の栽培法について共同研究を行ってきました。

この度、この研究のより一層の活性化と下水道資源の新たな有効活用の実現に向け、連携協定の締結に至ったものです。

【研究の概要】

日本における慢性腎臓病(CKD)患者数は2021年時点で1330万人(20歳以上の8人に1人)とされ、新たな国民病ともいわれています。また、都道府県別の透析患者数から推計すると、鹿児島県の人口100万人あたりのCKD患者数は全国で6番目と考えられます。CKD患者は腎臓に負担のかからない食事の工夫が必要となり、病気のステージが進むとカリウムの摂取を制限しなければなりません。

研究グループは、南部処理場内の雑用水として再利用している下水処理水の一部を灌水用水・液肥として活用し、水耕、れき耕栽培を行っています。この方法で栽培した作物ではカリウム含有量が低いことがわかり、一部の作物では実用レベルの結果を得られていることから、CKD患者に適用できる商品の開発を目指しています。

【締結内容】

鹿児島大学農学部と鹿児島市水道局は、次に掲げる事項について連携及び協力します。

- (1) 下水処理水の有効活用に関すること
- (2) 下水道資源の農業利用に関すること
- (3) 持続可能な社会の構築及びSDGsにかかわる教育に関すること

【問い合わせ先】

鹿児島大学農学部食料生命科学科

渡部 由香

TEL: 099-285-3557

MAIL: k6734357@kadai.jp